

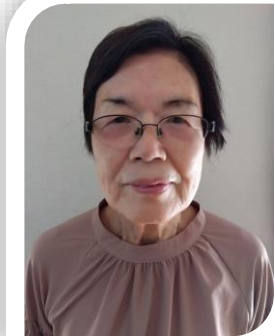
## — ごあいさつ —

副会長 羽田禮子

急にやってきた秋の到来で衣替えの準備に追われています。令和5年度は一泊旅行以外は順調に事業が進行しています。

みんなの広場の編集は本部の編集委員が懸命に頑張っています。会員相互の情報交換の場として進められています。

11月には教育推進研究協議会が、新しい形で午後6時から開催されました。現職との貴重な情報交換の場として、実のある機会になりました。多くの会員の皆様のご参加を感謝しています。



## My Note

会員の皆様の趣味、活動や楽しく過ごされている様子等を掲載させていただきます。皆様の寄稿をお待ちしています。

### 「子どもたちと共に」 遠藤 尚之

早いもので退職して11年目となりました。初任者指導教員を3年間、所沢市直営の地域開放型松井小学校図書館長を1年間、所沢市内にある児童館の館長として7年目。まだまだ、フルタイムで子どもたちと関わる仕事を続けています。児童館は小学生の遊び場程度の認識でした。実際に勤務して理解は一変。児童福祉法の児童は0歳～18歳までというのを改めて実感しました。市内の行政区ごとにある11児童館は乳幼児が保護者と利用する子育て支援センターとしての機能、②放課後児童健全育成事業（学童保育）機能、③一般児童（小・中・高校生）も利用するという3つの機能があります。勤務館は、昨年度、コロナ禍で制限がありましたが、月に約5000人、年間にすると約6万人の利用がありました。コロナ禍以前は、月に約8000人、年間では約9万人が利用していた市内でも一番規模の大きい児童館です。児童館では生活クラブと言っていますが、200名の在籍児童がいます。児童数減少でも働く保護者が増え、生活クラブ入所待機児童がいるという現状です。

四季に応じて日々様々な活動を行っています。写真は生活クラブの子どもたちがキュウリやゴーヤの種をポットに植えて苗にし、苗をプランターに植え替えて育てたものです。2歳から3歳の幼児たちもアサガオの種を蒔き、みどりのカーテンに成長させました。お蔭様で、所沢市の「みどりのカーテンコンテスト」公共施設部門で、連続して大賞を頂き、子どもたちの励みになっています。

児童館の活動は地域の組織や個人など多くの方の様々な応援を頂いて行っています。私は、かつての経験を活かし、地域の小・中・高・大学をはじめ、自治会、商店会、更生保護女性会、母子愛育班、民生委員・主任児童委員、市保健センター、警察署、消防署などのほか、特技をお持ちの方々と連絡を密にして地域連携を図ってきました。

子どもたちを真ん中にして、地域とつながり、あってよかったと思われるような児童館を目指して、今、私は子どもたちと共に時を過ごしています。



## 地域と学校が学び合い、子どもを支える仕組みの構築に向けて ～コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入～ 松井小学校長 市川重彦先生

松井小学校は、所沢市の令和5年度モデル校（他、椿峰小、北野小・中学校）として、学校運営協議会制度を取り入れ、コミュニティ・スクールとなりました。開校150年の歴史と伝統を生かしたコミュニティ・スクールづくりをはじめました。

### 学校運営協議会制度（地教行法47条の5）

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる。
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。
- ◎本制度を導入した学校をコミュニティ・スクールという。

前年度の準備段階として、保護者懇談会や地域の会議で制度を説明しました。委員の人選では、学校評議員や公民館の職員に相談しながら丁寧に進めました。また、3月にキックオフ会議を開き、「地域・保護者・学校で、子どもたちをどう育てたいか」をテーマに話し合った内容を「目指す子ども像」として設定し、令和5年度の学校経営方針に取り入れえました。

6月の第1回会議では、新年度がすでに2ヶ月を経過していましたが、改めて、令和5年度の学校経営方針を承認いただきました。続いて、学校の課題として、保護者・地域アンケートの結果を踏まえ、“不登校支援”を課題として抽出し、地域と学校が一緒になって取り組むことができる解決策をワークショップ形式で話し合いました。話し合いの中で、委員から「不登校の子どもに、どのような言葉を掛けたら良いかわからないので、言葉の掛け方を学びたい。」との声が上がったので、地域と学校が一緒に学び合う機会を設定することにしました。

8月の夏休み中には、校内研修として計画していた「不登校支援の言葉掛けロールプレイ研修（講師：教育センター指導主事・相談員）」を、地域や保護者に関き、参加者を募ったところ、教職員と合わせて60人近くの参加者があり、不登校を含む、さまざまな児童に対する言葉の掛け方を具体的に学び合うことができました。

今後、会議を重ねながら、地域の方が「松井小サポーター」として、不登校支援を含むさまざまな子どもたちを支援することができる仕組みを整えていきます。

### 目指す子ども像

- ふるさと松井が大好きな子
- 笑顔であいさつする子
- やさしく思いやりのある子
- 楽しく学び続ける子
- 明るく元気で健康な子



解決策をワークショップ形式で



立ち話形式で課題を抽出



地域・保護者・教職員による研修



言葉掛けロールプレイ研修

## ところんのびのび塾

## 子どもの学びを支える

所沢市教育委員会 学校教育課主催

「小学生対象 算数基礎学力向上プロジェクト」で小学校3年生から6年生児童の、算数学習サポート事業に協力しました。令和5年7月24日（月）、25日（火）、27日（木）、28日（金）の4日間 所沢市立教育センターで、9：00～11：20 で行いました。



教育委員会や学校の先生達と一緒に、地元の大学生や中学生、学校に勤める支援員や地域ボランティアの方々も応援しているよ！

・今回のところんのびのび塾に参加してみて、苦手だった算数が少しずつ解けるようになってきたし、先生たちがわからないところなども、細かく教えてくれたから、やり方が分かって解けるようになった。

・教えてくれた先生たちがとてもやさしく、おもしろかったので、自分から、楽しく勉強できてよかったです。来年は、中学生になって、できなくなってしまうけれど、中学生も参加できるところんのびのび塾を作ってほしいです。

ところん先生として、佐々木会長もシール貼ってますね！Kaityou

参加記念の缶バッジもあったよ

【保護者の方より】・先生方がとても丁寧にご対応くださいまして安心してお任せできました。4日間、たくさん褒めていただきありがとうございました。いろいろな問題をサクサク解くことができて、楽しかったようです。

## 歌舞伎鑑賞教室

## 退公連共催事業

令和5年7月8日（土） 国立劇場大劇場で、「歌舞伎のみかた」双蝶々曲輪日記一引窓一を20名の出席で鑑賞することができました。



57年の歴史ある国立劇場。毎年「歌舞伎鑑賞教室」を退公連との共催事業として行ってきました。令和5年10月一杯で、老朽化の為に建て替えられ、2029年以降に新しい国立劇場として開場する予定です。新しい国立劇場が出来上がるまでは、来年度以降、別の会場で開催される催しを鑑賞していく予定です。

## 私も元気です展



9月17日（日）から20日（水）まで4年ぶりに所沢市役所市民ギャラリーにおいて、「私も元気です展」が行われました。久しぶりの催しで、はじめは実行委員も会場設営に迷いましたが、すぐに思い出し、手際よく会場設定ができました。

久しぶりだったため、出品数は17名33点で以前より少ないものになりましたが、皆さん力作のものが多くみられました。来場者は100名と例年に比べて少なかったですが、ここで、皆様の感想を紹介いたします。

・タイトルがとっても素敵ですね。退職後に皆さんが生き生きと趣味を楽しんでいらっしゃる姿が目に見え、嬉しかったです。

・お世話になった先生方、中学の時に指導いただいた先生方の作品もあり、お話もさせていただき、とってもいい時間となりました。

・毎回素晴らしく見ごたえある作品の数々に出会えてとても刺激をいただいております。これからも、続いていかれますこと、応援しております。

## 日帰りバス旅行



秩父祭り会館

コロナ禍がおさまり、10月11日（水）久しぶりにバス旅行が実現いたしました。20名が集合場所である所沢駅東口りそな銀行前に集合し、秩父市・長瀬町方面に、8時に出発しました。行きは、飯能を通過して秩父に向かいました。

最初の目的地である酒造りの森（秩父錦酒造物産館資料館）では、酒造りの工程の見学のあと、試飲をしたりお土産を買ったりしました。その際、電子観光・飲食クーポン2,000円分を使うことができました。そのあと、秩父神社・秩父祭り会館に行き、日本三大曳山祭り「秩父夜祭」をテーマに屋台・坂鉾の展示映写コーナーなどを見学しました。お昼を食べた後、午後は、埼玉県立自然の博物館に行き、埼玉の自然とその生き立を地質や生き物などの豊富な資料を紹介する博物館を見学しました。

帰りは、花園フォレストに立ち寄り、パンやバームクーヘンなどを購入し関越自動車道を使い帰路につきました。来年度は一泊旅行も実施できるといいねという発言が多く聞かれました。

【編集委員】（委員長）丸山 昇 （委員）佐々木正憲、鈴木良明、内野正行、齋藤敏男

◎ 寄稿、ご意見や要望等がございましたら編集委員までご連絡ください。

◎ 令和5年10月に所沢市退職校長会ホームページを開設しました。

アクセス方法は（埼玉県退職校長会HP⇒入間支部HP⇒所沢班HP）です。